【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-509222(P2010-509222A)
【公表日】平成22年3月25日(2010.3.25)
【年通号数】公開・登録公報2010-012
【出願番号】特願2009-535349(P2009-535349)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ　16/18　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/46　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　19/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　 1/22　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　 1/06　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　21/08　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ　16/18　ＺＮＡ
Ｃ０７Ｋ　16/46
Ｃ０７Ｋ　19/00
Ｃ０７Ｋ　 1/22
Ｃ０７Ｋ　 1/06
Ｃ１２Ｐ　21/08
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ
Ａ６１Ｋ　39/395

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月1日(2010.11.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ｃ－末端のＸ－末端を含む連続アミノ酸の区域を調製する方法であって、下記を含む方法：
（ａ）（ｉ）その配列がＮ－末端シグナル配列をコードする第１部分、これと接した（ｉｉ）その配列が連続アミノ酸の区域をコードする第２部分、これと接した（ｉｉｉ）その配列がＣ－末端インテイン含有結合ドメインをコードする第３部分を含む、組換え核酸により、下記を可能にする条件下で細胞をトランスフェクションし：（ｉ）Ｎ－末端シグナル配列、これと接した連続アミノ酸の区域、これと接したＣ－末端インテイン含有結合ドメインを含む、キメラポリペプチドが合成され、そして（ｉｉ）Ｎ－末端シグナル配列がキメラポリペプチドから開裂し、これにより連続アミノ酸の区域がＣ－末端インテイン含有結合ドメインと接したものを含む、第２キメラポリペプチドが産生される；
（ｂ）工程（ａ）で産生された第２キメラポリペプチドを単離し；
（ｃ）第２キメラポリペプチドを、連続アミノ酸の区域からＣ－末端インテイン含有結合ドメインのチオ仲介開裂が起き、これによりＣ－末端チオエステルが形成されるように処理し；

（ｄ）工程（ｃ）の生成物をそれのＣ－末端においてＸ－末端アミノ酸残基とライゲートさせ、これによりＣ－末端のＸ－末端を含む連続アミノ酸の区域を形成させ；そして
（ｅ）工程（ｄ）の生成物を回収する。
【請求項２】
連続アミノ酸の区域がＩｇＧ免疫グロブリンＦｃポリペプチドおよびＩｇＧ　Ｍ１エキソンを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
ＩｇＧ免疫グロブリンがヒトＩｇＧ免疫グロブリンである、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
連続アミノ酸の区域がＣＤ４細胞外ドメインを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
連続アミノ酸の区域がＴＮＲ１Ａ細胞外ドメイン、ＴＮＲ１Ｂ細胞外ドメイン、ＶＨ－ＣＨドメイン、ＶＧＦＲ１細胞外ドメイン、ＶＧＦＲ２細胞外ドメイン、ＶＧＦＲ３細胞外ドメイン、ＥｒｂＢ１細胞外ドメイン、ＥｒｂＢ２細胞外ドメイン、ＥｒｂＢ３細胞外ドメイン、またはＥｒｂＢ４細胞外ドメインを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
Ｎ－末端シグナル配列がＣＤ２　Ｔ細胞表面糖タンパク質またはＣＤ４　Ｔ細胞表面糖タンパク質由来である、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
細胞が２９３ヒト胚細胞またはＣＨＯ－Ｋ１ハムスター卵巣細胞である、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
トランスフェクションがプラスミドｐＳＡを用いて実施される、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
Ｃ－末端インテイン含有結合ドメインがインテイン－キチン結合ドメインである、請求項９９に記載の方法。
【請求項１０】
Ｃ－末端インテイン含有結合ドメインがＭｔｈ　ＲＩＲ１インテイン結合ドメインである、請求項１に記載の方法。
【請求項１１】
Ｃ－末端インテイン含有結合ドメインが自己スプライシングインテイン含有結合ドメインである、請求項１に記載の方法。
【請求項１２】
工程ｂ）において生成物をキチン誘導体化樹脂に曝露することによりキメラポリペプチドを単離する、請求項１に記載の方法。
【請求項１３】
細胞内での第２キメラポリペプチドの開裂が細胞性シグナルペプチダーゼにより行なわれる、請求項１に記載の方法。
【請求項１４】
工程（ｃ）の生成物をシステイン残基とライゲートさせる、請求項１に記載の方法。
【請求項１５】
工程（ｃ）の生成物をセレノシステイン残基とライゲートさせる、請求項１に記載の方法。
【請求項１６】
請求項１に記載の方法により製造されるＣ－末端のＸ－末端を含む連続アミノ酸の区域であって、該連続アミノ酸の区域はＴＮＲ１Ａ細胞外ドメイン、ＴＮＲ１Ｂ細胞外ドメイン、ＶＨ－ＣＨドメイン、ＶＧＦＲ１細胞外ドメイン、ＶＧＦＲ２細胞外ドメイン、ＶＧＦＲ３細胞外ドメイン、ＥｒｂＢ１細胞外ドメイン、ＥｒｂＢ２細胞外ドメイン、ＥｒｂＢ３細胞外ドメイン、またはＥｒｂＢ４細胞外ドメインを含む、前記連続アミノ酸の区域。